

事前評価書

年度	R3
整理番号	

事業名・路線名等		道路改築事業・主要地方道 <small>なかつたかだせん なべしま</small> 中津高田線(鍋島工区)	事業主体	大分県
所在地		中津市大字 <small>なべしま</small> 鍋島		
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4車線化により、交通混雑の緩和及び物流の効率化を図る</li> <li>・災害時における緊急輸送道路の安全性、機能性の確保</li> <li>・中津港や中津日田道路とのネットワーク形成による北部地域の産業支援</li> </ul>		
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=770m(拡幅)、W=13.0(21.25)m</p> <p>【道路区分】 第3種第2級 【設計速度】 V=60km/h 【計画交通量】13,500台/日(令和12年推計)</p> <p>【現況幅員・交通量】 W=6.0(10.75)m 10,859台/日(平成27年道路交通センサス)</p> <p>【重要構造物】-</p>		
	事業費	C=700百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から7年(令和10年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目	測量・調査・設計	
		2年目	測量・調査・設計、用地補償	
		3年目	測量・調査・設計、用地補償、道路工事	
		4年目	測量・調査・設計、用地補償、道路工事	
		5年目	用地補償、道路工事	
		6年目	道路工事	
		7年目	道路工事	
完成				
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通容量の不足により慢性的に混雑している</li> <li>・追突事故が多く、県平均と比べ事故率も高い</li> <li>・緊急輸送道路1次ネットワーク、啓開ルートに指定されており、南海トラフ地震等の大規模災害時における、物流道路としての信頼性の確保が必要</li> </ul>		
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通容量不足の解消による交通混雑の緩和、物流の効率化</li> <li>・道路拡幅(4車線化)による安全性・走行性向上</li> <li>・大規模災害時における避難活動や物資輸送等を支援</li> <li>・中津港や中津日田道路などへのアクセス強化</li> </ul>		
事業手法・工法の妥当性	費用便益分析	・費用便益比(B/C)=1.3		
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路構造令等に適合した工法を採用</li> <li>・隣接する改良済み区間の線形及び建物の立地状況を考慮し、最も経済的なルートを選定</li> </ul>		
	コスト縮減	・アスファルト、コンクリート、砕石は再生資材を利用		
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設発生土について、現場内流用を基本とし、余剰分については他公共事業等への流用を行う計画</li> <li>・大規模な土地の改変なし</li> <li>・近隣に家屋が隣接しているため、低騒音低振動の施工機械を採用</li> <li>・法面の植生には在来種を主として用いる</li> </ul>		
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中津市から要望書が提出されており、地元の協力体制も整っている</li> <li>・中津市に事業の地元窓口を設けるなど、市との連携体制も整っている</li> <li>・地元との意見交換会を中津市と共に開催し、事業への合意形成を図っている</li> </ul>		
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路法第15条に基づき事業を実施</li> <li>・都市計画区域マスタープランに位置付けられている路線(優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間)</li> <li>・『安心・活力・発展プラン2015～2020改訂版～』、『おおいた土木未来プラン2015(改訂)』、『おおいたの道構想2015～改訂～』に基づき事業実施</li> <li>・社会資本整備総合交付金交付要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合</li> </ul>		
	事業の特殊性	・迂回には時間を要する(約10分)ため、施工中の交通規制等に配慮した施工計画を策定する		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい		

# 事業箇所位置図

